

平成27年度
第2回やまがた緑県民会議議事録

日 時 平成27年10月7日(水)
午前11時～午後3時
場 所 白鷹町文化交流センター
「あゆむ」文化伝承室

1 開会

2 あいさつ

永澤環境エネルギー一部次長

3 協議

○議長あいさつ・議事録署名人の氏名

議長より安部雄祐委員を指名

(1) 平成27年度やまがた緑環境税活用事業の取組状況について

(みどり自然課みどり県民活動推進主幹、林業振興課森林保全主幹)

資料1にて説明

高谷時子 委員

最近、クマやサルなどの被害についてよく耳にするが、狩猟者への支援対策についてはどう考えているのかお聞きしたい。

みどり自然課長

やまがた緑環境税を使った事業としては、総合クマ対策推進事業の中で、新しく狩猟免許を取ろうという方を対象にした初心者講習会を県の猟友会に委託して実施している。それ以外にも、猟友会の新規に銃を持たれる方への助成や普及啓発の取組みなどは県の別の予算で実施している。被害対策については、農林水産部が担当しており、狩猟者に協力いただく部分について実費相当の金額を支払う形で取り組んでいる。

小山浩正 議長

狩猟者の数が減っているのと同時に高齢化が問題になっているので、若い方の新規参入が課題になっていると思う。初心者講習というのは、まだ取っていない、これから取りたいという方に対しての講習会を行うということか。

みどり自然課長

毎年、試験は8月・9月に実施しており、その前の7月に村山と庄内の総合支庁で講習会を開催している。事前に勉強していただくと免許試験の合格率も上がるということで取組みを進めている。

小山浩正 議長

参加者はどのくらいか。

みどり自然課長

両会場合わせて100人を超える方が参加されている。講習会を受講された方は90%位の合格率になっている。

小山浩正 議長

今年度の荒廃森林緊急整備事業のうち針広混交林整備については、当初の50haに対して72haで順調以上に進んでいるが、地区別では全て村山地区となっている。当初から村山のみで今年度は計画されていて、それが目標を上回ったという理解でよろしいか。

森林保全主幹

はい。北村山地区の尾花沢市と村山市に北村山森林組合が働きかけをして面積をまとめている。長いスパンでは、全体的に他の3地区でも進めていく。

小山浩正 議長

その他についていかがですか。特に今回無ければ、この後の来年度の考え方についても連続するものだと思うので、(1)の協議事項の平成27年度の取組状況については了承してよろしいか。

委員

(異議なし)

(2) 平成28年度やまがた緑環境税活用事業の考え方について

(みどり自然課みどり県民活動推進主幹、林業振興課森林保全主幹)

資料2にて説明

後藤完司 委員

環境保全を重視した森林整備の推進の中の森林資源再生事業は、開始されてから何年になるのか。

森林保全主幹

今年度からの新規政策。

後藤完司 委員

9月10日に募集締め切りと資料にあるが、実際これに対する応募はあったのか。

森林保全主幹

9月10日で締め切ったものにつきましては春に造林した分の集計となり、これについては5.9haの申請があった。もっぱら山形県では、秋に造林が行われるので、秋に造林された分については、今後申請を受け付けるという形になる。

後藤完司 委員

この事業は非常に大切な事業。整備の後に将来を見据えた再生事業というのは重要な案件だと思う。50haというのはあまり広い面積ではないが、ぜひこれをさらに検証しながら拡大していき、整備後の計画的な再生事業を積極的に進めていただきたい。同時に、これに対しての実績を公表していただきたい。

森林保全主幹

主伐をしてもなかなか再生林に回すお金が手元に残らないという経済的な要因のほか、森林所有者の高齢化や過疎化の進行によりどうしても再生林が進まない現状があるので、それを何とかしたいという政策である。今年が初年度なので、この実績等についてもこの県民会議で明らかにしていきたい。また、こういった補助金がないと回って行かないというのも業としては非常に好ましいことではないと思っている。今後、出口的な木材の利用の部分もかなり出て来る。この事業は呼び水的な部分もあるので、これをきっかけにして再生林を進めていくとともに、その結果については公表していきたい。

小山浩正 議長

秋の造林分については、いつまでの締切りになるのか。

森林保全主幹

来年2月まで受け付ける。

林業全体に活況を呈してきて伐ることはできるが植えられないという状況がこれから一番困ることだと思うので、ぜひこれを呼び水にしていきたいと考えている。

安部雄祐 委員

苗木についてはここ何十年もずっとあまり良い環境ではなかったということもあって、緑環境税の一般向けの説明のなかで「資源循環」で一番わかりやすい「伐って利用」ということを形にしてきたが、最後に向かって苗木を植えて次の世代に循環というところが一つのゴールになるのではと考えている。そういった意味では、苗木を植える部分を何とか増やしてもらいたい。また、ソフト事業でも、絆の森など、植林ということで少し活動ができれば、前向きに緑環境税というものが回ってきている、木材の循環が起きているというところがゴールに見えてくるのではないかと思うので、その辺もお願いしたい。

伐採と搬出のうちの搬出の部分だが、現場の方ではトラックが非常に少なく、なかなか順調に搬出できないという状況もあるようで、木材利用に向けてその辺が少しネックになっていると思う。この搬

出支援の部分でどのくらいで間に合うのか、あまりあてにされても困るという部分もあるので、年々少しずつ、例えば2年目3年目と少しずつ減らしていくということも含めて、この補助のあり方について考えなければいけないと思う。反面、トラックの搬出の部分でネックになっている部分についても何か一つは必要かと思う。

森林保全主幹

スギの苗木については、造林面積が急激に減ってきたことから苗木生産者自体も非常に減ってきている状況。現在、苗木生産者は、村山地区に2名、最上地区に1名、置賜地区に1名、庄内地区が2名・1組合ということで、実際に7個人くらいしか苗木を生産しているところがない。かなり生産量も落ちていて後継者等の問題もある。今、県で進めているのが、これまでの苗畑で床替えをして根っこが付いた状態で植えるものから、プラスチックの細長いコンテナの中で苗木を育ててそして花のポット苗を植える状況で根っこを痛めずにコンテナから抜いて植える、そうすると省力化でき、植える季節についても幅が出てくるということで、緑環境税ではない、林業振興予算の部分でコンテナツリーの生産について支援的な事業も持っている。

また、伐採したら時間を置かずに地ごしらえしてすぐ植える、いわゆる一環システムについてだが、伐採して何年も置いてしまうとまた藪になってしまう。そうするとまたお金がかかるので伐採したら直ちに地ごしらえして同時にすぐ植える。そういった一環システムの方にもコンテナツリーを使って少しずつ移行していく方針でいる。

それから搬出支援について。これまでは県外に持って行ったために採算が取れない部分を補てんしてきた。バイオマス発電についても、今のところ村山ではグリーンパワーしか無いわけだが、これが鶴岡にも出てくるし、その他いろいろと動きもある。県内でも需要が出て来るので、補助金を出さないと回らないということではなくて、しっかりと原料を運んで原料代として買ってもらって作業が成り立つ、そういったふうに最終的にはもっていかなくてはならないと考えているので、これについても需給の動向を見ながら検証を進めていきたい。

安部雄祐 委員

再造林の場合、場所によっては再造林すると不具合があったり、山の奥の方などそこまで入っていかなくてはならないのかということもあると思うが、再造林する際の考え方や基準などがあるのか。

森林保全主幹

昔山頂まで木が植えたが、今いざ木を伐って出そうとしても道が無くて出せないということがたくさんある。伐ってまた再造林してそれを保育するのがかなり困難な条件不利な現場は多々あると思う。やはりある程度、森林作業道の路網もしっかりして、継続して保育管理できるような場所をまず重点的に再造林していくという形になるかと思う。

小山浩正 議長

その他ありますか。特に無ければ、先程委員からいただいたご意見・取組みを踏まえながら、(2)の協議事項、平成28年度事業については引き続き検討を進めていただくということでよろしいか。

委員

(異議なし)

(3) やまがた緑環境税制度の評価・検証について

(みどり自然課課長補佐 (みどり県民活動推進担当))

資料3にて説明

小山浩正 議長

森林関係の各種調査は今ちょうど進められているところということだが、その結果はワーキングチーム会議ないしはプロジェクトチーム会議に逐次あがっているということか。

課長補佐 (森林整備担当)

現在、調査を進めているところだが、現地調査後にデータの解析という形で進めている関係上、11月末に中間報告が委託業者から提出されることとなる。その段階でデータと解析状況について当該業者と打合せをする予定となっているので、現在のところ手元にはあがってきていない状態である。

小山浩正 議長

その結果がある程度県民会議に出てくるタイミングとしては、1月の県民会議でアウトラインというか中間報告としてご報告いただけるのか。

課長補佐 (森林整備担当)

はい。

小山浩正 議長

アンケートも精力的にやられているということだが、質問項目は統一で実施しているということか。

課長補佐 (みどり県民活動推進担当)

質問項目については、大きく分けて個人アンケートと企業アンケートで中身を変えている。インターネットアンケートは個人アンケートが中心になっているが、以前委員の方から、どのようなところから県民の皆さんが情報を仕入れているのかが知りたいという話もあったので、「どのような情報源で知りましたか」という項目も入れている。そのほか公募団体・交付金団体については、その事業に合った質問内容にしている。

小山浩正 議長

次回そのアンケート項目も見せてもらえるとわかりやすいのかと思う。

小山浩正 議長

その他ご意見もあるかと思うが、時間も超えているので、これについては今後とも評価・検証を進めていただくということによろしいか。

委員

(異議なし)

4 その他

特になし

5 閉会